

「友だちだけ」のつもりが… SNSの拡散リスク



SNSやグループLINEを使い、仲のいい友だち同士でやり取りをすることはとても便利で楽しいですね。しかし、「友だちだけに送ったはずのメッセージが他人にも知られていた」ということはありませんか？ ネットに書いたことは、思っているよりずっと早く、広く、伝わってしまうことがあります。そんな「広がりすぎた情報」が原因で起きたトラブル事例を見ていきましょう。

グループチャットで…

AさんはCさんがいないグループチャットでCさんに関する冗談を言いました。

Cっていつも
変なこと言うよねw



それを見たBさんがCさんにそのことを伝えてしまいました。

Aがこんなことを
言っていたよ



その後、AさんとCさんはケンカになってしまいました。グループチャットに当人はいないから大丈夫だと思っていても、そのグループチャット内の誰かがそれを広めてしまうかもしれません。グループ内でのやりとりでも、その外に情報が出てしまうことはあります。



非公開アカウントなのに…

Dさんは、非公開アカウントだからと安心して自撮り写真や動画を投稿していました。



フォロワーの誰かが勝手にDさんの写真や動画を保存し、別のアカウントを作り、なりすまし投稿をしていることがわかりました。



Dさんの写真は色々な人に広められてしまいました。

「非公開アカウントだし、信頼できる人しかフォロワーにしていないから」と安心して個人情報や自分の写真・動画などを投稿すると、なりすまされたり、その情報を悪用されトラブルになったりすることがあります。

SNS上に自分の情報を投稿することには、危険が伴うことを理解しましょう。



SNS内で内緒の話はできません。投稿した時点で拡散のキケンがあります！